

**社会資本総合整備計画
事後評価**

**平成28年8月
岩手県 陸前高田市**

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 事後評価書

平成28年8月

計画の名称	17 陸前高田市における安全・安心・快適な生活環境を支える道づくり																							
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)	交付対象	陸前高田市																					
計画の目標	陸前高田市民が安全に安心して快適に通行できる道路整備と橋梁の修繕を行う																							
計画の成果目標 (定量的指標)	市道を改良、舗装新設及び側溝・舗装の修繕を実施することにより、市民が安全に安心して快適に通行することができる道路が増加する。また老朽化が進む市道橋の修繕を予防的に実施することでより安心・安全・快適な道路となる。																							
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">陸前高田市道路台帳による市道の舗装率及び改良率により算出する。(※目標値を算出する場合、H22当初道路台帳総延長は固定する)</th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H22当初)</th> <th>中間目標値 (H24末)</th> <th>最終目標値 (H26末)</th> </tr> <tr> <td>[H22当初舗装率]H22当初舗装済道路延長(m)/H22当初道路台帳総延長(m) % = 279,552m/577,699m = 48.4%</td> <td>48.4%</td> <td>49.6%</td> <td>50.5%</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>[H22当初改良率]H22当初改良済道路延長(m)/H22当初道路台帳総延長(m) % = 255,109m/577,699m = 44.1%</td> <td>44.1%</td> <td>44.7%</td> <td>44.9%</td> </tr> <tr> <td>陸前高田市内の橋長15m以上の橋梁の修繕率により算出する。 [修繕済橋梁数]/[橋梁長寿命化修繕計画によりH26までに修繕が必要とされる橋梁数] % = [修繕済橋梁数]/7橋</td> <td>0%</td> <td>42.9%</td> <td>100%</td> </tr> </table>			陸前高田市道路台帳による市道の舗装率及び改良率により算出する。(※目標値を算出する場合、H22当初道路台帳総延長は固定する)	定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	[H22当初舗装率]H22当初舗装済道路延長(m)/H22当初道路台帳総延長(m) % = 279,552m/577,699m = 48.4%	48.4%	49.6%	50.5%		[H22当初改良率]H22当初改良済道路延長(m)/H22当初道路台帳総延長(m) % = 255,109m/577,699m = 44.1%	44.1%	44.7%	44.9%	陸前高田市内の橋長15m以上の橋梁の修繕率により算出する。 [修繕済橋梁数]/[橋梁長寿命化修繕計画によりH26までに修繕が必要とされる橋梁数] % = [修繕済橋梁数]/7橋	0%	42.9%	100%
陸前高田市道路台帳による市道の舗装率及び改良率により算出する。(※目標値を算出する場合、H22当初道路台帳総延長は固定する)	定量的指標の現況値及び目標値				備考																			
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)																					
[H22当初舗装率]H22当初舗装済道路延長(m)/H22当初道路台帳総延長(m) % = 279,552m/577,699m = 48.4%	48.4%	49.6%	50.5%																					
[H22当初改良率]H22当初改良済道路延長(m)/H22当初道路台帳総延長(m) % = 255,109m/577,699m = 44.1%	44.1%	44.7%	44.9%																					
陸前高田市内の橋長15m以上の橋梁の修繕率により算出する。 [修繕済橋梁数]/[橋梁長寿命化修繕計画によりH26までに修繕が必要とされる橋梁数] % = [修繕済橋梁数]/7橋	0%	42.9%	100%																					
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,251百万円 850百万円	A 1,205百万円 804百万円	B 0百万円 0百万円	C 46百万円 46百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	3.7% 5.4%																	

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期 平成28年8月
本事業を主管し、市道の整備及び維持管理の所管課である建設課で数値目標の達成状況や事業効果の発現状況を検証するとともに、その要因を分析した。	公表の方法 市ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業											上段：計画	下段：実施								
A 基幹事業 (道路事業)											全体事業費 (百万円)	備考								
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	施設 種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名			事業実施期間 (年度)							
											H22	H23	H24	H25	H26					
17-A-1	道路	一般	陸前高田市	直接	-	市町村道	改築	(2) 小坪舞出線	橋梁架替 L=166m	陸前高田市						181	229			
									橋梁架替 L=166m											
17-A-2	道路	一般	陸前高田市	直接	-	市町村道	修繕	(他) 今泉高田線	橋梁補修 L=147m	陸前高田市						77	77			
									橋梁補修 L=147m											
17-A-3	道路	一般	陸前高田市	直接	-	市町村道	改築	(他) 米ヶ崎線	改良舗装 L=250m	陸前高田市						2	2			
									改良舗装 L=250m											
17-A-4	道路	一般	陸前高田市	直接	-	市町村道	改築	(1) 小泉和野線	改良舗装 L=250m	陸前高田市						41	41			
									改良舗装 L=250m											
17-A-5	道路	一般	陸前高田市	直接	-	市町村道	改築	(他) 中和野4号線	改良舗装 L=270m	陸前高田市						56	56			
									改良舗装 L=270m											
17-A-6	道路	一般	陸前高田市	直接	-	市町村道	改築	(他) 下壺2号線	改良舗装 L=764m	陸前高田市						78	78			
									改良舗装 L=764m											
17-A-7	道路	一般	陸前高田市	直接	-	市町村道	改築	(1) 玉山線	改良舗装 L=230m	陸前高田市						50	12			
									改良舗装 L=230m											
17-A-8	道路	一般	陸前高田市	直接	-	市町村道	改築	(2) 長洞只出線	改良舗装 L=608m	陸前高田市						95	61			
									改良舗装 L=608m											
17-A-11	道路	一般	陸前高田市	直接	-	市町村道	改築	(他) 舞出3号線	道路改良 L=288m	陸前高田市						30	32			
									道路改良 L=288m											
17-A-12	道路	一般	陸前高田市	直接	-	市町村道	改築	(2) 堂の沢線	道路改良 L=255m	陸前高田市						75	85			
									道路改良 L=255m											
17-A-17	道路	一般	陸前高田市	直接	-	市町村道	改築	(他) 長洞1号線	道路改良 L=238m	陸前高田市						39	19			
									道路改良 L=238m											
17-A-24	道路	一般	陸前高田市	直接	-	市町村道	改築	(他) 八戸の沢線	道路改良 L=361m	陸前高田市						51	70			
									道路改良 L=361m											
17-A-25	道路	一般	陸前高田市	直接	-	市町村道	改築	(1) 今泉下矢作線	道路改良 L=2600m	陸前高田市						300	17			
									道路改良 L=2600m											

17-A-26	道路	一般	陸前高田市	直接	—	市町村道	改築	(他) 田ノ浜線	道路改良 L=346m	陸前高田市							45	
									道路改良 L=346m								18	
17-A-27	道路	一般	陸前高田市	直接	—	市町村道	改築	(他) 大陽小友浦線	道路改良 L=500m	陸前高田市							85	
									道路改良 L=500m								7	
合計																1,205		
合計																804		

B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
										H22	H23	H24	H25	H26				
合計																		
番号	一体的に実施することにより期待される効果																	備考

C 効果促進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
										H22	H23	H24	H25	H26				
17-C-2	計画・調査	一般	陸前高田市	直接	—	計画・調査	道路管理システム整備	道路台帳データベース整備	陸前高田市								46	
								道路台帳データベース整備									46	
合計																46	46	
番号	一体的に実施することにより期待される効果																	備考
17-C-2	道路台帳等を電子化し、効率的な道路管理を行うことにより、観光地までの道路案内や災害時の通行可能道路等の情報提供等、道路利用者の利便性向上による交通の安全・円滑化を図る。																	

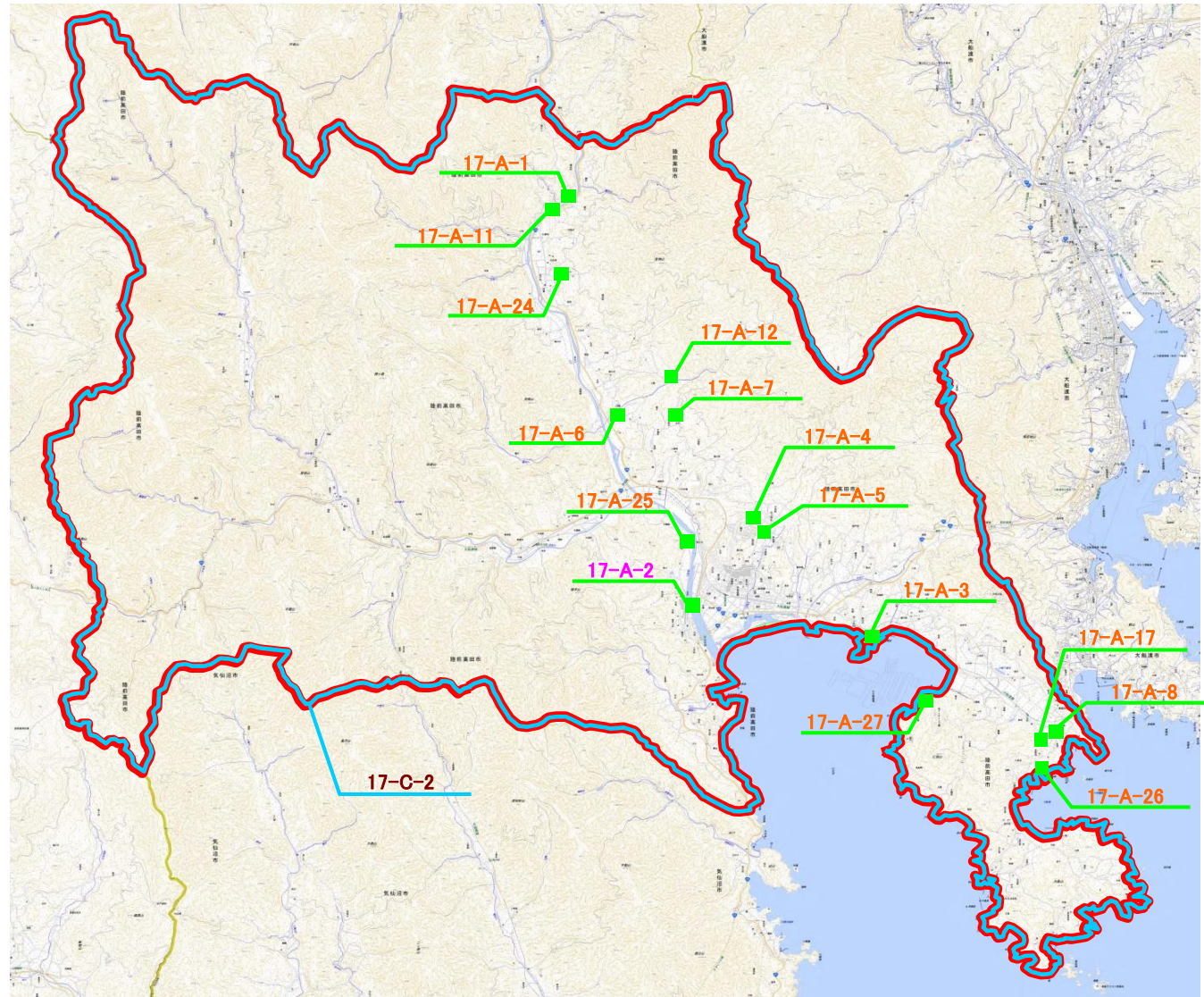
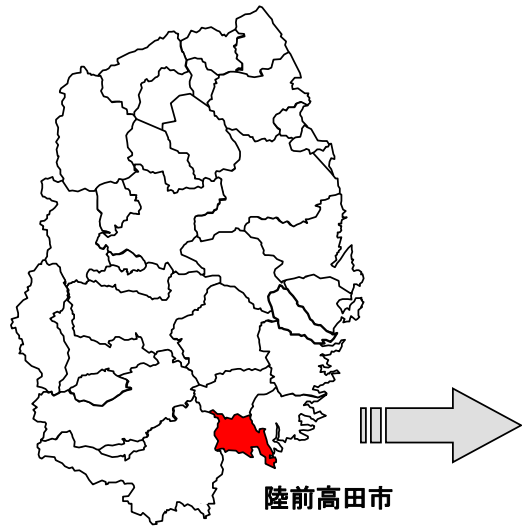
その他関連する事業																		
計画等の名称		17 陸前高田市における安全・安心・快適な生活環境を支える道づくり(防災・安全)																
事業種別		交付対象	要素となる事業名 (事業箇所)					市町村名						全体事業費 (百万円)	備考			
17-A'-20	道路	陸前高田市	(1) 湊福伏線外					陸前高田市						95	防災・安全移行元			
17-A'-21	道路	陸前高田市	(他) 中沢2号線外					陸前高田市						24	防災・安全移行元			
17-A'-22	道路	陸前高田市	(他) 黒崎線外					陸前高田市						213	防災・安全移行元			
17-A'-23	道路	陸前高田市	(他) 柳沢和方線外					陸前高田市						98	防災・安全移行元			
17-C'-1	計画・調査	陸前高田市	橋梁長寿命化修繕計画策定事業					陸前高田市						12	防災・安全移行元			
17-C'-3	計画・調査	陸前高田市	路面性状調査					陸前高田市						20	防災・安全移行元			

全体事業費	合計 (A'+B'+C')	462百万円	A'	430百万円	B'	0百万円	C'	32百万円	(C+C')/((A+A')+(B+B')+(C+C'))	4.6%
-------	------------------	--------	----	--------	----	------	----	-------	-------------------------------	------

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		事業の実施に伴い幅員狭小、道路の急な曲線が解消され、避難路やコミュニティ道路等の安全で安心な交通環境の向上が図られた。			
II 定量的指標の達成状況	指標 市道の舗装率 舗装済道路延長/H22当初道路台帳総延長	最終目標値	50.5%	目標値と実績値に差が出た要因	
			291,737m / 577,699m		
	最終実績値	51.8%			
		299,347m / 577,699m			
	最終目標値	44.9%			
		259,386m / 577,699m			
指標 市道の改良率 改良済道路延長/H22当初道路台帳総延長	最終目標値	44.9%	目標値と実績値に差が出た要因		
		259,386m / 577,699m			
最終実績値	46.9%				
	270,769m / 577,699m				
最終目標値	100%	・平成23年度に発生した東日本大震災における復興事業と併せて事業を重点的に進めたことによる。			
	7橋 / 7橋				
最終実績値	14.2%				
	1橋 / 7橋				
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)			・平成23年度に発生した東日本大震災による計画橋梁流失等のため、事業実施が不可能となったことによる。		
3. 特記事項 (今後の方針等)					
・現計画について効果的且つ効率的な事業の進捗を図るとともに、復興事業及び市民個人による住宅再建による生活環境の変化に合わせて計画を柔軟に見直し、安全・安心・快適な生活環境の創造の一環として整備を図るものとする。					

(参考図面)

計画の名称	17 陸前高田市における安全・安心・快適な生活環境を支える道づくり	交付対象	陸前高田市
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)		



【凡例】

《交付団体:陸前高田市》

■ 基幹事業(A)

《事業識別》

改築系

補修系

○ 効果促進事業(C)

《事業識別》

計画・調査